

2020/5/17

(大変由来の大機を逃すものか！！)

昨日、電動バリカンを買いました。

コロナ禍の自粛営業のせいで、行きつけの QB ハウスが休業になり、再開のめどが未定となっていたので、無精者の自分もやむなく重い腰を上げて、昨日掲題のものを買ってまいり、今朝、朝風呂上がりに自分でアタマを刈り上げました。

幸いにも自分は坊主頭が常態ヘアスタイルなので。

で、思ったのですが、コロナ禍後、生活行動が相当変わるだろうなあと。

まず、掲記の散髪の件に関して言えば、braun の電動カミソリが税込約 6000 円。

QB ハウスといえど、一回の散髪代が税込 1200 円。で、月に 2 回行くので 1 か月 2400 円。

となれば、3 か月で braun の高級電動バリカン (1 mm 刈り上げ対応はこれが最低価格でした) の元が取れて 400 円おつりがくる。且つまた、お店に出向くための時間が少なくとも 3 時間は節約できると、自分にとっては、いいことづくめ。

多分そういった発見がそこかしこで起き、行動パターンの見直しと変容が起きるであろうと。

その際大切なのは、おそらく「自分の力で、どこまで、またどれだけのことができるだろうか？」という自己点検とそれを行動に切り替える手立ての発見でしょうか？

そうなると、女性はともかく男性には革新的な変化が起こるはずでしょう。

どういうことかということ自分の身の回りのことや「お三ドン (食事の支度等)」を女性に頼る必要のない男性が続出し「そういったことが目的で結婚する」タイプの男性がぐっと減るのではないかと思っております。

で、その男性が女性に求めるようになるのは、それ以外の要素。しかもこれまた単なる「美貌」や「見てくれ」だけではない新しい要素を。

仮にこれを経済で見ると、QB ハウスと電動バリカンは有形資産ですけれど、自分でする散髪のノウハウの獲得は無形資産です。身の回りの世話やお三ドン、将又 (はたまた) 女性の美貌は有形資産もどきですが、それ以外の見えない魅力は無形資産です。

工場を持ったトヨタの価値が落ち、工場を持たない GAFAM (GAFA+Microsoft) のアプリケーションやソリューションの価値が上がっているのも、そんな世の中の変容を示しているのではないのでしょうか？

兎に角大きな転換が起きる或いはすでに始まっていることだけは確実のようです。

こんなビッグチャンス、めったにないので逃したくありません。

それで、以上のような画枯れに即して、当社としてもカーリー屋の「ナマステ エブリバディ」という有形資産以外に、インターネット私サイトでの電子出版「ナマステ別館堂出版事業」という無形資産事業に力を入れ始めた所以でございます。